

## 2. 公認会計士になるには



公認会計士になるには公認会計士試験に合格する必要があります。平成18年に試験制度の見直しを実施され、受験資格が無くなり誰でも受験することが可能となりました。公認会計士試験に合格した後は多くは監査法人に勤務しながら実務補修所で実施される研修を受けます。この期間が原則3年であり実務補修の単位と2年以上の実務経験を経て終了審査に合格し、公認会計士になります。

試験について詳しく説明しますと、必須科目として会計学(財務会計論・管理会計論)、監査論、企業法、租税法があり、選択科目として経営学、経済学、民法、統計学の中から1科目選択します。大学学部を選択としては、商学部や経済学部が一般的でしょう。ただし法学部や理系から公認会計士になられる方もおられますし、公認会計士の活躍の幅が広がる昨今においては理系の知見をお持ちの方は重宝されます。

しかしこれら試験と研修だけではプロフェッショナルとして活躍できる公認会計士にはなれません。会計というものは企業の経済活動を数値で表現するための技術です。企業の経済活動は、多くのイノベーションによって活動の範囲を拡大し、または時間軸を短縮しどんどん変化していきます。そのような場面に直面した時に、新しい経済事象をどのように会計処理し利害関係者に正しく伝達するか、こういった困難な場面でプロフェッショナルとしての力量を発揮しなければなりません。企業の決算書はいわば社長の成績表です。社長に

とっては単なる会計処理といえども、自分の評価、すなわち地位や報酬に影響を及ぼすわけですから、会計処理について公認会計士と意見が対立するケースが出現することがあります。企業のことを一番よく知る社長を説得することは、相当骨の折れる仕事です。しかし我々は利害関係者の期待を裏切ることはできませんので、このような場面はより慎重に理論武装して対応する必要があります。時には何回も会議を重ね議論し、ハードな折衝を行う場面もあります。

このように、公認会計士はただ単に決算書の数値が正しいこと、例えばレジのレシートを黙々と集計して売上高が正しく計上されているかを確認することよりも、企業の多くの部署の責任者や担当者、企業のトップとたくさんコミュニケーションをとって多くの情報を集め、それらを要約して企業を俯瞰(ふかん)する技術が求められます。そういった意味では、様々なキャラクターの人と多くコミュニケーションすることを厭わず、仕事のこと以外にも、いつでも雑談を繰り出せる見聞の広さが求められる仕事だと言えます。



## 3. 仕事の広がりについて



ここまでで説明してきた財務諸表監査を基本とする公認会計士の仕事は、経済活動の様々な場面で必要とされており、公認会計士が活躍するフィールドはますます広がっています。その一例としては、企業の依頼を受けて問題点と解決策を策定し実行のお手伝いを行うコンサルティング業務、企業価値の評価を実施する業務、県や市、関連団体へのサービスの提供、企業内会計士として適正な財務諸表を作成する職務、新しい会計基準を作成する業務、海外に進出する企業を支援する業務などがあります。また、独立開業することも可能です。一般企業に就職すれば定年で退職することになりますが、公認会計士は勤務先を退職しても、その後好きなだけ仕事を続けることができます。

私が公認会計士になって経験した仕事の中で特に印象深いのが書籍の執筆です。数名で共同して執筆しましたが、自分の書いた本が本屋さんで並んでいるのを発見した時はとても嬉しかったのを覚えています。

## 4. 公認会計士の魅力



公認会計士の魅力は、たくさんの人と出会うことができる点です。多くの人と出会うことができれば刺激も多く人生が豊かになることは間違いありません。公認会計士は若いうちに大企業のトップ

に会い、経済をリードしている方々の見識に触れることができます。それをどう活かすかはそれぞれですが、その機会が多いことは公認会計士の最大の魅力といえるでしょう。

高校生活においては、学校の先生、クラブ活動、留学生との交流、地域社会との交流などを通じて社会との接点を持つことができます。しかしそれはほんの小さな一部に過ぎません。人の能力や幅を広げてくれるのは他人であり、それが黒船ほどの衝撃をもたらしたときに、人は大きく成長するのかもしれない。知らない世界に飛び込むことを恐れず、ご自身に限界を設けず多くの高い目標に挑戦していただきたいと思います。

今回、公認会計士についての職業紹介の機会を頂きましたが、資格や職種についても、皆さんが知らない仕事が多々あります。世の中をよく知ることとても重要ですが、テレビや本ではなく、できる限り生身の人間と会って、多くのことを吸収してください。この原稿が皆さんの人生を豊かにする一助になれば幸いです。

